

2 大宅文庫で読めるのみです。

そもそも「月刊タウン」って7号までしか出ておりませんでした。当時としては、豪華な「PLAYBOY」といった具合の革新的な紙面でしたが。

増田まもるさんの説では、こうした山野浩一さんのショートショートは、J・G・バ
ラード「下り坂カーレースにみたてたジョン・フィッツジェラルド・ケネディ暗殺事件」
〔『J・G・バラード短編全集4』、東京創元社、二〇一七年〕のような「濃縮小説」
として読むべきではないか、ということですが、その通りだと思います。